

第7回吉野川市学校再編計画策定委員会会議録概要版

- 1 招集年月日 平成24年8月23日(木)
- 2 招集の場所 吉野川市川島庁舎2階大会議室
- 3 開閉会日時 開会 平成24年8月23日 午後7時
閉会 平成24年8月23日 午後8時56分(1時間56分)
- 4 出席委員 15人
- 5 出席職員 事務局等9人
- 6 会議日程
 - 1) 開会
 - 2) 会長挨拶
 - 3) 教育長挨拶
 - 4) 協議事項
 - ① 中学校の再編計画について
 - ② 小学校の再編計画について
 - 5) その他
 - 6) 次回の開催日程
 - 7) 閉会
- 7 会議の経過

【日程4 協議事項】

- ◆ 協議事項1 中学校の再編計画について
- ◆ 協議事項2 小学校の再編計画について

- 会長 日程4の協議事項に入ります。
協議事項1と協議事項2につきましては関連がありますので、一括して事務局から説明をお願いします。
- 事務局 (資料1～9ページ「中学校の再編計画について」と「小学校の再編計画について」を説明)
- 会長 資料の内容につきまして御質問はありますか。以前の資料内容についての御質問でも結構です。
(特に声なし)
- 会長 前回の会議録を読ませていただきますと、中学校施設を小学校として利用できないかという意見が出ていましたので、まずは中学校から協議していきたいと思います。中学校の再編計画につきまして、何からでも御意見ををお願いします。
副会長、前回の策定委員会では、中学校は2案ですね。
- 副会長 鴨島で1校と川島・山川で1校の案、鴨島で1校と川島で1校と山川で1校の案、この二つの案にまとまりましたが、既存校舎の活用だけでなく、別の場所に新しい学校を建設するという

- 意見も出ました。
- 会長 市立川島中学校と山川中学校を一緒にすると、広範囲な校区になります。
- 副会長 将来的な理想としては2校が良いのではないかと思います。鴨島は鴨島第一中学校を活用した1校と、川島・山川は山川中学校を活用した1校です。しかし、中学校で川島を（川島小学校区は鴨島第一中学校に、学島小学校区は山川中学校に）分けることに関しては、後々問題があると思います。JRや路線バスもありますので、その部分で話ができないものかと思います。
- 会長 前回の策定委員会では、中学校を2校に再編するのであれば、学校を自由に選ばせてあげたいという意見もあったと思います。また、市立川島中学校と山川中学校を山川中学校に集約するのであれば、県立川島中学校に行くという意見も出てくる可能性があると思いますが、このことについてはどうでしょうか。
- 委員 現在でも、県立川島中学校の近隣の子どもは（同校へ）たくさん通学していると思います。
- 委員 学校選択制の場合、川島小学校区の子どもが鴨島第一中学校に通学したい理由として、通学距離が理由に該当するのですか。
- 事務局 距離が遠いから別の学校に行きたいという理由が、ダメということにはならないという理解をしています。
- 委員 中学校は500人程度の中規模校が良いと思います。200人台では厳しいと思います。1学年に100～130人程度の規模であれば、小回りも効きますし、集団生活としてもやっていけると思います。しかし、考え方によっては1,000人規模の学校でも良いのではないかと思います。吉野川市で中学校を1校に集約した場合に、平成30年度で911人です。私は、過去に1,300人程度の規模の学校を経験していますので、吉野川中学校として1校にすることも可能ではないかと思えます。あまり勧められる話ではありませんが、財政難の問題を考えると、1校にするような考え方もできるのではないかと思います。高校生になると自動車通学もあり得ますので、そのような発想もありかと思えます。新しい学校を2校建設するより安くなりますし、現在の中学校を小学校の校舎として活用できます。また、以前から挙がっている住民感情の問題もクリアできると思います。ただ、鴨島第一中学校区の小学校を鴨島第一中学校に集約すると、（平成24年度では）800人以上の規模になります。小学校をそのようなマンモス校にするのかということになります。平成40年頃にはどうなるのかということを見ると（0～14歳は平成22年度の約4割減）、可能ではないか

- 委員 と思います。
- 委員 (会長の) 挨拶の中で佳境というような話がありましたが、いつ頃まで議論ができるのですか。
- 会長 スケジュール(第2回資料4ページ)では、9月頃にはある程度の骨子を固めることになっていますが、スケジュールを延ばすこともできます。10月頃にまとめができていなくても間に合いますよね。
- 事務局 はい。
- 事務局 前回の策定委員会では、鴨島で1校と川島・山川で1校の案、鴨島で1校と川島で1校と山川で1校の案がありました。先ほど、吉野川市で1校の案が出ました。中学校の考え方だけで言いますと、この三つの案に集約されると思います。結論を急ぐ訳ではありません。議論を重ねていただいて結構ですが、この策定委員会として、どのような再編にするのかを議論していただければ、方向性が出てくると思います。
- 会長 事務局にお聞きします。中学校は三つの案がありますが、この策定委員会では時間軸も決めるのですか。例えば、子どもの人口が減少しているのに、最終的には吉野川市で中学校を1校にすることを見据えないと難しい部分もあると思います。このような再編にするのであれば、このようなステップで行かないといけないというのがある気がします。最終形態だけを決めたら良いのか、段階的なものを含んだ方が良いのか、この部分についてはどうでしょうか。
- 事務局 事務局といたしましては、会長がおっしゃいましたように時間軸などを考慮して、こういうステップを踏んで、最終的にはこのような形になるという答申をいただけたら、ありがたいと考えています。最終形態だけとなると、どのようなステップを踏んでいくのか。また、今までの意見にありましたように第1段階、第2段階にするというようなことも分かりませんので、できれば時間軸などを含めて御議論をいただけたら、事務局としてもありがたいと考えています。
- 委員 以前にいただいた資料(第1回資料10ページ)に、平成4年から平成22年までの児童・生徒数の推移の表があります。これを見ると、小学校の児童数は約20年間で約4割の減、中学校の生徒数は約20年間で約5割の減となっています。将来については、6年後(平成30年)までしか推移が分からないのは仕方がないことですが、ある程度の予測を含めた考え方をしなければ、(将来、予測される子どもの数と)ズレが出てくると思います。現在の児童・生徒数から4割減まではいかなくても、

3割程度の減になることを見据えて話しを進めていかないといけないと思います。

事務局

委員の意見はもつともだと思います。(平成31年以降についても)学校毎のデータがあれば良いのですが、持ち合わせていません。前回の資料26ページになりますが、国立社会保障・人口問題研究所というところが市町村別の0～14歳の推計人口を出しています。小中学校の子ども的人数ズバリの数字ではございませんので、参考程度にしかありませんが、吉野川市の年少人口(0～14歳)がこのように減っていくというのを、減少率と併せてお示しさせていただいていますので、各小中学校の児童・生徒数についても、おおむねその程度は減少するのではないかということで、御議論を進めていただければと思います。

委員

どのあたりを目標にするのか決めなければ、各委員の認識がバラバラだったら意見に差が出ます。

会長

各委員の意見もいろいろあると思いますが、三つの案がありますので、もう少し意見をいただいてから、ある程度のところでまとめていきたいと思います。

委員

中学校を2校にするのか3校にするのかで、問題となるのは市立川島中学校です。川島小学校と学島小学校を一つに再編する時に、川島小学校へは再編できない、学島小学校へも再編できないので、市立川島中学校を川島の再編した小学校にするのが理想的だと思います。そうするためには市立川島中学校は山川中学校に再編されることとなります。しかし、川島小学校区の子どもは鴨島第一中学校の方が近くなりますので、保護者への説明がうまくいけば、すんなりいくと思います。

先ほど、JRや路線バスの話がありましたが、路線バスについては、市役所の川島庁舎から鴨島方面へはありますが、川島庁舎から西には運行していませんので、路線バスは難しいと思います。また、川島小学校区の子どもたちはどちらの中学校へ行っても良いということにすると、県立川島中学校へ流れていくような心配があります。小学校の事を考えると、鴨島第一中学校と山川中学校の2校で良いと思いますが、小学校から中学校へ行く時の事を考えると、保護者や地域への説得が肝心だと思います。

委員

中間集約の基準を当てはめるのであれば、中学校は3校です。そうすると川島の小学校2校が1校にならないということですが、答申を出すべきなので、それぞれの事情を聞いては切りがありません。あくまで中間集約の基準を目標にして、将来

は1校に集約して新しい学校を建設するべきですが、今はとりあえず、どちらかの小学校に集約するような答申で良いのではないかと思います。ここで決定するものではありませんので。

委員

先ほど、委員の意見にありましたように、私も基準をどこに置くのかだと思います。例えば、平成30年を優先するのか。中学校を1校にすることを優先するのか。最終的に1校にするというのであれば、現在の中学校を増改築して再編するのにお金がかかり、その後、1校に再編するために新しい学校を建設するのに更にお金がかかります。それが最初の再編から5年後なのか、10年後なのか分かりませんが、視点をどこに置くかということを見据えた上で議論を進めていかないと、余分なお金がかかります。無駄になります。すごい決断が必要になりますが、平成30年を目処にして中学校を1校にする決断をするのか。それとも今回はこれくらいの規模の再編にして、5年後、10年後にもう一度考えましようという考えで良いのか。現在の中間集約の基準ではこのような再編になりますが、それ以後はこのような再編になりますという答申でも良いのか。それであれば、1,000人規模の1校にするというすごい決断をしても良いのでは。

委員

先ほど、マンモス校というお話しをしましたが、(現在のように丁寧な教育が求められる時代に)マンモス校を作ってしまうと、本当に大変だと思います。今、いろいろな問題が多く起こっている学校は、マンモス校が圧倒的に多いです。

(第6回資料26ページ) 将来人口の見通しで平成47年を見ると、(0～14歳は平成22年の)約45パーセント減になるということですが、それであっても、2校であればその頃(平成47年)までは大丈夫かなと思います。それ以降のことまで考えると厳しいと思います。

事務局

この策定委員会では、どこを基準にして考えていけば良いのかという意見がありました。例えば、平成30年という意見と、平成47年という意見があり、これでは議論がかみ合わないということだと思います。先ほど、事務局から御説明いたしましたが、個々の学校の児童・生徒数がどのように推移していくのかにつきましては、平成30年度までしかお示しすることができないのが実情です。参考程度で良いのであれば、本市では約1,000人の中学生が(平成47年には)約500人になります。(学校の規模として)2校だったら許せる範囲であるのであれば、そこまでを目処として考えるのが一番合理的でないかと思います。若しくは、もう少し手前を考えると、委員の御意

見にありましたように、3割程度の減少になるというところを基準に考えても良いかと思えます。

委員

我々は予算のことは気にしなくても良いと言っても、ある程度は考えていかないと、できないことを言っても仕方がないと思います。一番近いところを見据えて、各小中学校の児童・生徒数の推移が分かる平成30年に至るまでに、お金をかけないような再編を考えなければなりません。そうすると、山川中学校に市立川島中学校を集約するのが一番難しい問題ではないかと思えます。鴨島東中学校が鴨島第一中学校に再編されるというのは、中学校の通学距離を4キロメートルにするのか、5キロメートルにするのかということであり、私の意見としては6キロメートルでも大丈夫だと考えています。もともと鴨島町ですので大きな抵抗感はないと思います。しかし、川島の子どもが山川中学校に行くことについて、どうするのかということを考えてあげないといけないと思います。我々が策定委員になっているというのは、地域の代表ということでもありますので、難しい問題だと思えますが、その部分も我々が考えていかねばいけないと思います。また、近い将来と遠い将来をどう考えるのか。近い将来はお金をかけないように考えていかねばいけない、しかし、お金をかけないと言って、このような整備しかできないというのは止めて欲しい。お金をかけない再編をするといっても、子どもたちが楽しく学校に通学できる状況を作っていただきたいと思えます。

会長

どこを基準に考えるのかということで、答申としては、将来的にはもちろん1校ですが、まずは、子どもの人口推移が分かる平成30年（6年後）や10年後の状況で考えるとこのような再編になるというのでどうでしょうか。そして、将来を見据えるとこのような再編になるというのでどうでしょうか。そうすると、鴨島で1校、川島と山川で1校になると思えますが、いかがでしょうか。

委員

私も中学校は2校が良いと思えます。県立川島中学校があるので、県立川島中学校にもたくさん行くと思えます。これは想像ですが、(県立川島中学校に)行きたい子どもが増えれば定員を増やすこともあると思えます。そう考えると、吉野川市内には中学校が3校ありますので、これで良いのではないのでしょうか。1校にするのは夢の話だと思います。ある程度はできるような意見でなければ、夢のような話を受けても困ると思えますし、それができるまでに何十年もかかります。時間がかかり過ぎるとできなくなりますので、5年間ぐらいで何か見えるような物

にしなければいけないと思います。

会長 5年ぐらいで見えるようになる範囲の答申にまとめてはどうかという意見でした。各小中学校の児童・生徒数が分かる資料は平成30年までですので、本日のテーマといたしましては、平成30年度でまとめてみてはどうかと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

会長 将来的な再編は次回以降ということで、本日はこの資料を見た状態でどのような再編にするのが良いのかという御意見を願います。

まずは、中学校の再編計画についてですが、玉突きのことも考えると、2校にしなければならぬのではないかと、2校にするとなっても、県立川島中学校を入れると3校ありますという意見でありました。これについて、皆様の意見はどうでしょうか。

委員 資料を見ると、平成40年頃までは2校でも基準を満たす人数になります。たとえ45パーセント減であっても。

委員 ただし、学島小学校区の子どもだけが山川中学校に通学するのであれば、基準は満たしません。厳しいです。

委員 この問題は難しい問題です。川島小学校区の子どもがどの中学校に行くのかは読めません。山川中学校に行くように説得できるのかというと、それはできないと思います。

委員 鴨島第一中学校と山川中学校の2校にして、市立川島中学校区の子どもをどうするのか。ちょうど中間にありますので、学校選択制にしたらと思います。

会長 これまで出していた意見によると、中学校は2校で良いのではないかと思います。この後、小学校の議論もあり、その中で中学校の見直しの議論も出てくることもあるかと思いますが、他に意見がないようでしたら、中学校の再編を2校で進めた場合に、小学校の再編はどうなるのかという議論に移っていきたいと思いますが、どうでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

会長 それでは、鴨島東中学校と鴨島第一中学校を鴨島第一中学校に再編、市立川島中学校と山川中学校を山川中学校に再編、中学校の再編につきましては、この2校に集約するというところで、今日のところは決定させていただきます。

続きまして、小学校の再編計画についてですが、事務局からお話しがありましたように、資料7ページには三つの組合せ例がありますが、この組合せだけに限ったことではないというお話しでした。この資料を参考にしながら、御意見を頂きたいと思

- います。まず、市立川島中学校が山川中学校に再編されると、川島小学校と学島小学校を市立川島中学校に集約するという御意見がありました。このような再編でよろしいでしょうか。
- 委員 中学校を2校にするというのは、川島の二つの小学校を市立川島中学校に再編することを前提に言いました。今の状況で保護者や子どものことを考えると、低学年を大事にしなければならないので、小学校のことを考えて、小学校はどちらの小学校に再編しても不便な場所にあり、校舎も古いので、両方の小学校の間にある市立川島中学校に再編されるのであれば、保護者の方を説得できるのではないかという思いで言いました。本当は川島に中学校を置いて欲しいです。
- 委員 小学校はこの再編で話がまとまると思いますが、私が市立川島中学校の保護者でしたら、絶対に「うん」とは言えません。そのような保護者が出てきてもおかしくないと思います。市立川島中学校をどのように再編するのか。どのように説明するのかと思います。
- 事務局 反対は必ず出てきます。委員がおっしゃられたように、どのように説明するのかは非常に難しいと思います。ただ、教育委員会といたしましては、策定委員の皆様方には御迷惑をおかけしません。教育委員会が責任を持って説明していきたいと考えています。
- 委員の皆様には、再編をするのか、再編をしないのかという議論をしていただいているのではありません。この策定委員会の当初に学校再編を目指す中で、どのような再編ができるのかを委員の皆様方に考えて欲しいというお話しをさせていただきました。議論の中で、このようにしましよと決まったことについて、それは市としてきっちり受け止めて、それをどうしていくかを検討いたします。御心配をしていただくのは非常にありがたいのですが、説明は私どもが頑張っていきますので、委員の皆様にはどのような学校再編を目指すのか、御議論していただきたいと思います。
- 会長 実際に説明を行う上では難しいことだと思いますが、川島につきましては、二つの小学校が、空いた市立川島中学校の校舎を有効活用するというところでよろしいでしょうか。
- (「異議なし」との声あり)
- 会長 続きまして、山川・美郷の小学校について議論を進めていきたいと思います。山川・美郷の場合は1校にする案と2校にする案の二つの御意見があったと思います。(資料7ページの)2番の山川・美郷で1校にする組合せであれば、どこの小学校に再

編するかは別として適正規模の基準は満たせると思いますが、校区はかなり広域になります。29番の山川・美郷を2校にする組合せであれば、山瀬小学校の1校と、川田3校（川田小学校・川田中小学校・川田西小学校）と種野小学校で1校の組合せになります。これにつきまして御意見をお願いします。

委員

種野小学校の場合は、現在もスクールバスで通学していますので、通学面では山川・美郷で1校になっても、2校になっても変わりません。スクールバスに乗せてもらうだけですので、何も問題ないと思います。だから、山川の小学校4校をどうするのかだけの問題です。それと、前回の意見にありました川田3校と種野小学校を小さく再編した三つ目の案があります。

委員

川田中小学校は幼保再編構想の候補地施設ではないのですか。

委員

それは考えなくても良いのではないですか。川田小学校でも川田西小学校でも受け入れは可能ですが、一番使い勝手が良いのは川田中小学校です。幼保の再編といっても、子どもの数は減っていますので規模は小さいと思います。

委員

幼保再編構想の施設として決まっているのですか。

事務局

決まっていません。

委員

川田小学校も川田西小学校もあります。幼保の再編にしてもバスを運行すると思いますので、どこの施設になっても関係ないと思います。

前回、川田小学校と種野小学校、川田中小学校と川田西小学校で2校にする案を言いましたが、それは住民の反対もなく、お金がかからない、すぐに再編ができるという理由で言いました。しかし、これは一時的なもので、20年後には人数的に無理だと思います。本当に山川・美郷の小学校を再編するのであれば、山瀬小学校単独で1校と、川田小学校と川田中小学校と川田西小学校と種野小学校を川田中小学校に集約する再編です。将来的に子どもの数が半分になりますと言って、10年後に山瀬小学校に5校を集約して1校にするのであれば、どれだけのスクールバスを運行しなければならないのか、それに伴いどれだけの財政負担が必要になるのか分かりません。既存校舎の活用で考えるのであれば、1校案は絶対に無理だと思います。2校に集約するとしても、体育館は古いため、建て替えが必要だと思いますので、それなりの投資は必要だと思います。

会長

山川・美郷につきましては、平成30年を考えるのであれば、山瀬小学校単独で1校と、川田小学校と川田中小学校と川田西小学校と種野小学校を川田中小学校に集約するという事によろしいでしょうか。

- (「異議なし」との声あり)
- 会長 山川・美郷につきましては、これで取りまとめをさせていただきます。
続きまして、鴨島になります。鴨島は子どもの人数が増えている地域もありますし、1校だけ大きな規模の小学校がありますので、非常に難しいと思います。
- 委員 鴨島東中学校が空きますので、鴨島東中学校区の小学校から先に決めたらどうでしょうか。
- 会長 鴨島東中学校区は分かりやすいです。先に決めてもよろしいですか。それでは、鴨島東中学校が鴨島第一中学校に再編されますので、市立川島中学校と同様に、中学校施設の有効活用をすること、鴨島東中学校区の上浦小学校・牛島小学校・森山小学校の3校を鴨島東中学校に集約すること、よろしいでしょうか。
- (「異議なし」との声あり)
- 会長 上浦小学校・牛島小学校・森山小学校の3校につきましては、鴨島東中学校に集約することにいたします。
続きまして、鴨島小学校・飯尾敷地小学校・西麻植小学校・知恵島小学校の4校の議論になります。資料7ページの組合せ例では、鴨島小学校を除く3校が1校になる組合せと、鴨島小学校と飯尾敷地小学校の再編と西麻植小学校と知恵島小学校の再編になる組合せと、鴨島小学校と知恵島小学校の再編と西麻植小学校と飯尾敷地小学校の再編になる組合せの、3つの組合せがあります。
- 委員 鴨島の小学校は校区を分けているのですか。
- 事務局 現在の鴨島小学校・飯尾敷地小学校・西麻植小学校・知恵島小学校の校区毎に分けています。
- 委員 この校区は、昭和の合併の時の旧町村の区域が色濃く残ったものでしょう。
- 会長 今の校区を踏襲するのか。この校区のこの部分だけを見直した方が良いのか。実際に居住している方の御意見もお聞きしないと、兄弟で違う小学校に通学する可能性も出てきます。この部分について御意見はありますか。
- 委員 飯尾敷地小学校区は、鴨島町森藤（森山小学校区）に隣接していますので地域によっては鴨島東中学校（鴨島東中学校区で再編した小学校）の方が近いです。鴨島町喜来の辺りも鴨島東中学校の方が近いです。そうすると小学校の学校選択制がどうかということです。そこまではできないのですか。
- 会長 小学校の学校選択制は難しいと思います。

委員 今の小学校の校区のままで分けると、(再編後に)ものすごく遠くなる子どもも出てきます。

委員 古い区割りに縛られたままではいけません。吉野川市になりましたし、学校再編ですから、古い区割りの線引きをそのまま残すのはおかしいと思います。近い小学校に行かせて欲しいというのは権利です。

会長 教育委員会といたしましては、校区の区割りを見直しながら再編の枠組みを進めていく考えはあるのですか。

事務局 委員のおっしゃることも分かりますが、学校の再編をどうするのかという段階で、同時に校区の見直しするのは難しいと思います。今は現在の校区のままで、このような再編をしたらどうだろうかという議論をしていただけたらと思います。学校再編の枠組みが決まった段階で、次のステップとして校区をどうするのかという議論をしていただけたらと思います。

会長 現在の校区で学校再編の組合せを決めておいて、それが決まるといろいろな問題が出てくると、そこで出てきた問題は、実際にその組合せで議論を進めていく段階で、十分に吸い取っていただけのですね。

事務局 今は学校再編の組合せの議論をしていますので、その後に(校区について)委員の皆様にご議論をしていただくこととなります。

委員 学校配置という部分と通学距離は相反する部分だと思います。いったいどちらを取るのか。通学距離を取ると校区は変わってきます。通学距離というのは、保護者からすると自分の子どもが自分で通学できる範囲でしょう。昔からの校区の線引きに縛られるというのはどうかと思います。

会長 それは後で議論する時間があります。

委員 それを決めなければ決まりません。エリアを決めなければならぬと思います。

会長 ただ、平行して行うのは難しい部分があります。ある程度は決まってから調整するようにしなければ。骨子が決まらなければ調整ができません。

委員 どちらから決めるのかが問題ですね。

会長 まずは適正規模から決めて、それから調整をするような仕方をしないと、調整ができなくなると思います。

委員 今でも、家から近くにある校区と違う小学校への通学や、いろいろな要因で校区と違う小学校に通学している子どももいます。(指定学校変更申立により校区外の学校への通学を)認めてくれていますので、特別に気にする必要はないのではないですか。線引きを取っ払いすぎると話が大きくなり、逆に線が引けなく

なります。現在の校区で話を進めなければ、まとまらないと思います。

会長 本日は、とりあえず学校再編の組合せをまとめて、次回の策定委員会までに、事務局から本日の意見をまとめた資料が届くと思いますので、事前に各自で検討していただいて、次回にもう一度検討するというところでどうでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

会長 そうしましたら、鴨島第一中学校区の小学校は3種類の組合せ例がありますので、それをどうするのか、どのような資料を作っていたら議論ができるのかという観点からも考えていただいて、御意見を頂けたらと思います。

委員 子どもの数からしたら2校になると思います。また、校舎の耐用年数や広さなど、学校施設のことを考えると、鴨島小学校と飯尾敷地小学校になると思います。

会長 校舎の耐用年数のお話が出ましたが、やはり既存施設の活用ですから、そのような意見になるのかと思います。

委員 私は鴨島の東部になりますので詳しくありませんが、通学距離的に見ると、1校でも大丈夫だと思います。冒頭に事務局から説明がありましたように、2校を1校に再編して新しい学校名に変わったのに、その10年後にもう一度再編して学校名が更に変わるようではいけません。再々学校名が変わるような再編はいけませんので、今回、再編を検討する段階で1校にできないのかということも検討してはどうかと思います。以前の資料でも、この4校を1校に再編した場合に受入が可能なのかどうかというのは無かったと思いますので、そのような資料をいただけたらと思います。

会長 この4校を1校にすると相当なマンモス校になります。

委員 平成24年度で859人になります。平成30年度でも761人です。

会長 これでは中学校以上になりますので、難しいと思います。

委員 この規模になると、学校の敷地が足りないと思います。

委員 1校にする組合せの中で、知恵島小学校区の東側半分など(鴨島東中学校の方が近い区域)を東側の小学校(鴨島東中学校区で再編した小学校)の校区に変更したらどうなるのかと調べていたのですが。

会長 20年後とか将来的には、(鴨島第一中学校区の小学校を)1校にするような話もあると思いますが、平成30年を目処に考えていただければ、鴨島小学校だけで369人いますので、その中で組合せを考えていただけたらと思います。

活用する学校につきましては、耐用年数などを考えると鴨島小学校と飯尾敷地小学校という御意見がありました。これでもよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

会長 鴨島小学校と飯尾敷地小学校を使用する場合に、どのような組合せにするのかにつきましてはどうでしょうか。

委員 距離的には、鴨島小学校と知恵島小学校、飯尾敷地小学校と西麻植小学校になると思います。

会長 平成30年を目標にすると、鴨島小学校と知恵島小学校は500人を超える規模で、飯尾敷地小学校と西麻植小学校は260人程度の規模になりますが、この組合せでもよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

会長 鴨島第一中学校区の小学校につきましては、鴨島小学校と知恵島小学校を鴨島小学校に集約、飯尾敷地小学校と西麻植小学校を飯尾敷地小学校に集約するというので、中学校は2校、小学校は6校という資料を、次回作成していただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

【日程5 その他】

会長 次に日程5のその他で、何かありませんでしょうか。

(特に声なし)

会長 本日の協議事項はこれで終了とさせていただきます。

【日程6 次回開催日程】

会長 日程6の次回の開催日程について事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料10ページ) 次回の開催日につきまして、会長、副会長と事前に協議させていただきました。9月24日(月)の午後7時から川島庁舎2階大会議室でお願いいたします。

【日程7 閉会】

会長 それでは、本日の日程は全て終了いたしました。本日はいろいろな意見を頂きありがとうございました。次回も引き続き、忌憚のない意見を頂きたいと思えます。これで本日の会議を閉じることといたします。本日はありがとうございました。